学校だより
「One-up」通信

令和３年１月１３日（水）
水戸市立見川中学校
NO:１７（令和２年度）

スローガン「団　結　ー共によくなるためにー」

放送による集会（１/８(金)）

１月８日（金），放送による集会が行われました。

学年を代表して，１年生の芦田さん，２年生の芳賀さん，３年生の白土さんが新年の抱負の発表を行いました。また，校長先生から，全体に向けて今年度の目標をやり切ることでまとめをしましょうということ，３年生に向けて進路実現のために時間を有効に使い「やりきった」という自信をつけてほしいこと，令和３年を共に頑張りましょうとのお話をいただきました。

新年の抱負

一年　芦田　爽楽

四月八日の入学式から早くも九ヶ月がたちました。新しく始まる中学校生活がとても楽しみでしたが、コロナ渦で充分な生活がおくれませんでした。そこで昨年の反省をふまえた、私の新年の抱負をお話しします。

まず学習面についてです。私は始めの頃のテストはとてもやる気があり、定期テストや授業内のテストでも自分が納得できる成績をおさめることができていました。しかし、中学校生活に慣れてきた十月頃から点数と順位は驚くほど落ちてしまいました。理由は明確で、家での時間を自分のやりたいことにまわしていまい、十分な学習ができていなかったからです。なのでこれからは自分の時間の使い方を見直し、二年生へ向けても計画的な学習を行っていきたいです。

次に部活動についてです。私は卓球部に所属しています。学校での活動は一回一回を大切に熱心に行い、家では自分なりの方法で毎日かかさず練習をしました。しかし、肝心なところで気持ち的な面でも技術的な面でもミスをしてしまうなど中々上達しない自分がとても悔しかったです。これからも自分で工夫した練習を行いたくさん研究をし、上達できるまでできることを全力で行っていきたいと思います。

これらの二つの抱負を胸に、二〇二一年も私らしく前向きな気持ちですごしていきたいと思います。また、残り少ない一年四組での生活を全力で楽しみたいと思います。

新年の抱負

二年　芳賀　なつみ

私の新年の抱負は二つあります。

一つ目は、学習です。これまでのテストでは、ケアレスミスが目立っていました。三学期は、問題を速く正確に解けるように工夫し、テストで見直しの時間がとれるようにしたいです。また、受験に向けて少しずつ勉強時間を増やし、マイスタで一、二年生の復習を計画的に行いたいです。

二つ目は、部活動です。私は、吹奏楽部で副部長を務めています。しかし、今までは部長に頼りきりな部分がありました。今年は、自分の行動や言動に責任をもち、挨拶・返事を大切に、よりよい部活動になるように努力したいです。昨年は、コロナの影響でコンクールや先輩方と演奏する機会がなくなってしまい、とても辛い思いをしました。しかし、それを乗り越え、今年のコンクールでは、部の目標である「県大会出場」を果たすため真剣に取り組みたいです。

二年生もあと三カ月で終わり、あっという間に三年生になります。これからは、今までの反省点を生かし、充実した二年生での生活を送りたいです。また、三年生に向けて下級生の手本となるよう、学習習慣を身に付けたり、生活態度を改めて見直したりして頑張りたいと思います。

卒業を見据えて

三年　白土　陽翔

中学校生活残り三カ月。僕には目標が三つあります。

一つ目は、後悔がないようにやり切るということです。受験を目前にし、僕は毎晩眠る前に「あ～。今日も一日終わってしまった。あとこれを何十かやったら受験を迎えてしまう。」という不安に押つぶされ、とても苦しい気持ちになります。しかし、僕達三年生には時間がありません。そのためには、今を全力で過ごさなければなりません。これまで積み上げてきた努力を無駄にしないためにも、受験までの日々を大切に過ごしていきたいです。

二つ目は、この三学年の最高な仲間と共に一日一日を大切に過ごすということです。三年間のなかでたくさんの大きな壁がありました。しかし、どんなときでも、この仲間達と助け合い進んでくることができました。それは一人一人がこの学年のスローガンである「自分を磨く」を意識し、学年全体で成長できたからだと思います。僕はこの素晴らしい仲間達と共に中学校生活を送ることができたことを、心から誇りに思います。そんな仲間たちを過ごせるのも残りわずかです。コロナウィルスの影響で、昨年のように急にバラバラになってしまうかもしれません。どのような終り方であっても、「中学校生活最高だったな」と言えるように一日一日を大切に過ごし、今までにない濃い三カ月間を学年全体で作り上げていきたいです。

三つ目は、感謝の気持ちを忘れないということです。壁にぶつかったときには必ず近くに見川中の先生方、そして両親の大きな力がありました。僕たちがこうして日々生活できているのは、これまで多くの方々の支えがあったからです。感謝の気持ちを忘れず、卒業まで歩んで行きたいです。